参考様式B3（自己評価等関係）

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和　6年　2月　16日

事業所名　　放課後等デイサービスはぴねす　　保護者等数（児童数）　21　　回収数　　19　　割合　90　　%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18			1		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	2		3		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	3	2	7	・国道沿いが危ないと思っていたが鍵がしっかりかかったりポールが飛ばないよう網ネットやフェンス等子供たちが安全に過ごせるように配慮されている。	ありがとうございます。 引き続き安全が保てるようにしてまいります。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	19					
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	17	1		1	・季節に合う行事等、自宅ではやらない又は出来ない事も体験させてもらい工夫されている。	ありがとうございます。 今後も様々な体験が出来るようにイベントを企画しいていきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9			10		
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19				・利用前に金額の提示があり、行事の参加 ・ 不参加の選択が出来るのもよいと思う。	ありがとうございます。 より丁寧な説明ができるように職員一同、研修を重ねていきます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	1			・出来たことはとてもよく教えてもらっている。課題をあまり聞けていない。	申し訳ございません。必要に応じて、課題についても共有させて頂きます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	3		1	・定期的な面談はしていただいている。 ・消耗品の使用状況、お友達との言葉のやりとりで仲良くできた、出来なかった等送迎時やLINEで連絡ができ、いつもよく見てもらっている。	ありがとうございます。今後も連携体制を整えていきます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5		6	8	・必要を感じていない。	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17			2	・昼食の買い忘れ、交通事故等があった際、その時の担当職員からの謝罪と説明、その後の対策やフォローもあり納得はしている。管理者からの一言連絡があってもよかったかなと思っている。	配慮が足らず申し訳ございませんでした。以後、同じことをしないように気を付けてまいります。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19					
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18			1	・毎月のおたより、HUGで活動の様子が見れて良い。	ありがとうございます。HUGについて不明点等あればいつでもご連絡ください。
	14	個人情報に十分注意しているか	17			2		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19					
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17			2		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	18	1			・毎日利用する曜日を楽しみにしている。	ありがとうございます。子どもたちが楽しめる空間をこれからも提供できるように日々精進してまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	19					

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。